事業所名	どんぐりの森	支援プログラム	作成日	2025 年	3 月	1 日

事業所理念	一人一人の存在を認め合い、大切にします ①こども一人一人の発達段階に合わせた支援、安心できる場所づくりを大切にします　②こども一人一人が持つ力を見つけ、自信に繋がる支援を大切にします ③一人一人の個性を認め合える「みんなちがっていい社会」、いろいろな個性が集まって「みんないっしょでいい社会」を目指します ④家庭だけでなく関係機関とも連携をはかり、こどもの発達に必要な情報共有を行い、共通認識を持って支援を行います				
支援方針	こどもの発達の土台は「からだ」です。発達をしていくためには土台を（からだ）をしっかりつくることが大切です。その土台作りをベースにしながら、一人一人の存在を認め合い、大切にできる「みんなちがってみんないい」そして「みんないっしょでみんないい」を合言葉に、こどももご家族も安心できる支援を、地域の協力をいただきながら目指します。				
営業時間	9 時 0 分から 17 時 0 分まで		送迎実施の有無	あり　なし	
	支　援　内　容				
本人支援 健康・生活	・身支度、衣服の着脱、排泄の自立等基本的生活習慣が一人一人の発達段階に応じて獲得できるよう支援します。 ・子どもの心と体の健康状態の把握に努め、安心して通所できるよう努めます。				
本人支援 運動・感覚	・ふれあい遊びやマッサージなどを通しリラックスできる体づくりをします。 ・様々な運動遊び（粗大運動や微細運動など）を通して、自分の体がわかり（ボディーイメージが持てる）体を動かす楽しさを感じられるよう支援します。				
本人支援 認知・行動	・様々な活動の中で、絵カードや、ペープサートなどの教材を使い、視覚的にもわかりやすく、ものの理解などができるように支援します。 ・見る、聞く、触るなど感覚を育てる活動を通して、様々な感覚が育つよう支援します。 ・ルールや決まりのある活動の中で、順番など約束を守ることの大切さを伝えます。				
本人支援 言語コミュニケーション	・自分のしたいこと、してほしいことなどを、カードやジェスチャーを使って表現したり、言葉で伝えられるように支援します。 ・困っていること、わからないことを自分から人に伝えられる力を育みます。 ・自分の気持ちが伝わったということが十分感じられるように受け答えをし、コミュニケーションの力を育みます。				
本人支援 人間関係社会性	・安心できる大人との関係の中で、少しずつ周りのしていることやお友達に目が向けられるように支援します。 ・小集団のお友達とのかかわりの中で、楽しいことや嫌なことなどいろいろな感情の育ちを支え、人とかかわる楽しさを感じられるよう支援します。 ・身近なお友達のしていることに関心を持ち、自分も「やってみよう」と感じたり、「できた」「うれしい」をみんなで共有できるよう支援します。				
家族支援	・保護者参観日、保護者懇親会、保護者向け勉強会等、保護者間交流や具体的な支援方法を学ぶ機会を設けます。 ・個別の面談を適宜行います。 ・家族参加のお楽しみ会を通して家族間交流の機会を設けます		移行支援	・地域の保育園や幼稚園に入園する（小学校就学も含む）際には、必要に応じて情報の提供や支援会議を行います。	
地域支援・地域連携	・通園している幼稚園、保育園、医療機関、専門機関との情報共有を行います。 ・自立支援協議会や通所事業所連絡会など地域連携会議へ参加をし、意見交換を行います。		職員の質の向上	・事業所内職員会議やアドバイザーを招いての定期的な支援内容検討会、個別ケース会議を行い、質の向上に努めます。　・法人内、事業所内の虐待防止、感染症対策、安全対策等研修を行いまう。 ・外部の職員研修への積極的な参加を推進します。	
主な行事等	・季節行事　・避難訓練　・年2回の遠足　事業所バスを利用してのお出かけ（年少児以下）、公共機関を使っての遠足や買い物体験（年中、年長）				